

地域景観ユニットの研究と技術支援について

北海道開発局主催：景観行政団体連絡会議

2012年 8月 27日

(独) 土木研究所 寒地土木研究所 地域景観ユニット

■ 寒地土木研究所の紹介

- 1937年 旧内務省北海道庁土木部の土木試験室
- 1941年 北海道開発局土木試験所（後に開発土木研究所）
- 2006年 土木研究所（つくば）と統合
独立行政法人 土木研究所 寒地土木研究所 に
- 2006年 寒地土研に地域景観ユニット設置
（2009年～独立した研究室）

現在、専任研究員4名＋兼務研究員4名の体制

■寒地土木研究所と地域景観ユニットの業務

■土木分野の研究、技術開発

■研究成果の普及活動

- ・技術マニュアル類の発行
- ・開発局はじめ公的機関の技術職員への研修・講習
- ・講演、関係雑誌等への寄稿、

■技術支援、技術相談、社会への還元

- ・国や自治体などからの技術相談、ホームドクター、勉強会
- ・学会活動、委員会等の委員など

■地域景観ユニットの研究紹介（パンフレット参照）

■研究分野

良好な景観形成による社会資本の質の向上や利用価値の高めて、ユーザー満足度や地域を支援する研究を行っている

社会資本のユーザーや地域の視点で研究を進めている

□土木景観に関する研究

道路景観や歩行空間の評価・向上策、景観の社会的効果 など

□社会資本の観光利活用に関する研究

道の駅の魅力向上、分かりやすい案内誘導と公共空間、国際的なロードツーリズム、公共空間のフットパス活用

■ 景観分野に関する研究 1 (詳細はHP)

□ 道路景観に関する研究 (シーン景観、シークエンス景観)

- ・ 景観の評価手法 ~ 人はどう感じているか?
良い・残念な景観、北海道らしい とは?
ある条件での定量評価法の開発など
- ・ 景観の向上手法 ~ 何が問題で、どうすれば良くなるか?

設計マニュアルなどの技術資料に・・・

北海道の道路でデザインブック (案)

北海道における道路景観チェックリスト (案)

道路景観データベースシステム

(いずれも開発局などで活用)

■景観分野に関する研究 2 (詳細はHP)

□空間認識による歩行空間の設計技術に関する研究

利用者の感じる印象・心象や利用行動からみた適切な設計を提案
観光地や中心市街地、駅前などの効果的な設計に反映を目指す

□電線電柱類の景観への影響を軽減する研究

景観への影響が大きく、各種の対策が行われているが、効果的な対策となっていない事例も少なくない

どんなところで、どう影響しているのか？ 目的と場所にあった効果的な対策を適切に選定するには？

■景観分野に関する研究 3

□北海道における景観の社会的効果に関する研究

近年の景観に関する施策に比べ、実態としての景観配慮は不十分
景観保全や整備の価値や効果が理解されていないから？
そこで、景観の様々な効果を把握する研究を実施（小樽など）

□道路緑化技術に関する研究

道路景観に影響が大きい「街路樹」や「のり面の木本緑化」
環境、景観、コスト、メンテナンスなどに配慮した設計や管理技
術を提案

北海道の道路緑化に関する技術資料（案）

■観光利活用に関する研究 1

□道の駅の魅力向上に関する研究

休憩機能の重要性に着目、屋内外の快適な休憩空間が滞在時間と消費額向上に貢献することを把握

他に観光振興に貢献する駐車場の快適性向上を目指し、ビューポイント駐車場の設計法を提案

地域の観光振興と道の駅の経営にも貢献する研究

□防災機能の向上に関する研究

東日本大震災でも大きく地域に貢献

ほとんどは防災拠点化されていないが避難／復旧／復興に貢献

平常時の機能や魅力、そして地域との連携が効果を発揮

そこで、平時の機能や魅力に繋がる防災機能向上技術の研究

■観光利活用に関する研究 3

□わかりやすい案内誘導と公共空間のデザインに関する研究

現在の案内誘導の基準は古く、観光交通に対応し切れていない
高齢化、女性、外国ドライバー人の増加にも対応しきれっていない
同時に案内サインの限界もあり、空間デザインでわかりやすく

□国際的ロードツーリズムから見たツーリング環境の向上に関する研究

外国人ドライブ観光の急増、北海道では大きな経済効果が期待
外国人のドライブ環境の魅力と利便性を評価
最もバリアのある外国人にとってのドライブ環境の向上を目的

□地域資源を活用したフットパスに関する研究

景観行政に係わる方々に理解して頂きたいこと

(一例)

■ 景観とは？ 景観の誤解？

- ・ 景観はセンスではなく、知識で理解できる。
- ・ 景観は、装飾的なものや化粧ではない。
- ・ 快／不快は主観だが、美は客観／必然／社会的である。
- ・ しかし、景観の価値は単なる美醜ではない。
- ・ 良い景観とは、人間にとって有用なこと、好ましいこと

詳しくは、開発こうほう（寄稿） 2011年5月号

北海道における良好な景観形成と地域の豊かさの創出について

http://www.hkk.or.jp/kouhou/file/no574_contribution.pdf

■景観整備による社会的効果

□整備された空間の認知／印象効果

- ・認知向上、印象の向上・・・



□人の意識に与える効果

- ・親しみ／愛着／誇り、などの向上
- ・地域のシンボル／ランドマークとして意識される
- ・景観や環境、まちづくりに関する意識の向上など



□活動に与える効果

（日常活動に与える効果）

- ・利用の増加／多様化、コミュニティの形成

（維持管理や団体活動に与える効果）

- ・イベント開催／維持管理／団体の地域活動に発展

□ 周辺の空間に与える効果

- ・ 建物の形態／意匠（デザインや色など）の変化
- ・ 公共空間整備の拡張
- ↓
- ・ 周辺施設の整備における連携、視点場整備
- ・ 景観に関する制度の構築 → 周辺景観が向上
（景観条例／計画／協議会）

□ 地域経済に与える効果

- ・ 観光客の増加、民間投資の増加、地場産業の振興

□ 外部評価の高まる効果

- ・ 外部機関の表彰、マスコミ／メディアによる報道
→ 地域ブランドの向上 → 誇りや愛着・・・
- ・ 移住者の増加、地価の上昇

■ 景観整備における技術と合意形成

□ 技術で解決すべき問題と合意形成で解決すべき問題は違う

身体的 → 場所的（工学） → 歴史・文化的 → 個人的

□ 技術で解決する課題

- ・ 橋のデザイン
- ・ 視点場整備・・・



□ 合意形成で解決する課題

- ・ 風力発電の風車
- ・ 函館ドック：ゴアイラスクレーン・・・



さいごに

- ・ 景観とは、決して付加的なものではなく、満たすべき必要条件
- ・ 景観の誤解：景観はセンスではなく、知識によって理解できる
- ・ 三方よしの景観づくりを目指す（来訪者も管理者も地域住民も・・・）

- ・ 「基本技術」と「計画思想」が一体となって、初めて良好な景観や環境に配慮された社会資本となる。（技術者の役割）

良好な景観形成が、公共空間の真の価値を高め、
人々の幸せや、地域の豊かさを引き出すとの認識が必要



地域の魅力に貢献する社会資本でなければ、
地域の真の豊かさには貢献しない

御清聴ありがとうございました

(独) 土木研究所 寒地土木研究所 地域景観ユニット

講演者のアドレス y-matsuda@ceri.go.jp

地域景観ユニットHP : <http://scenic.ceri.go.jp>

技術相談など、お気軽に相談ください。